

## 校長あいさつ

沖縄県立美咲特別支援学校のホームページを御覧いただきまして感謝申し上げます。

令和8年4月より、県立美咲特別支援学校の校長を拝命しました「赤嶺信吾」と申します。私自身、本校での勤務は教頭時代を含め3回目になりますが、再び校長として勤務できることを、心から嬉しく思っております。

さて、本校は、昭和47年（1972）年1月に琉球政府立中部養護学校として設立認可され、3月には「琉球政府立美咲養護学校」と校名を変更し、その年の5月10日に開校しました。開校当初は、小学部22名、中学部14名、教職員15名でスタートした小さな学校も、現在では、幼稚部や高等部分教室も設置され、幼稚部3名、小学部158名、中学部103名、高等部193名（分教室を含む）となり、県内で最も在籍数の多い特別支援学校となっています。

本校の教育活動のキャッチフレーズは、その校名にちなみ「きれいに 咲こうよ 咲かそうよ」です。そのフレーズは校歌にも使用されており、「咲こうよ」には、子どもたちの主体性が、「咲かそうよ」には、教職員はもちろん、保護者や地域の方々の温かい支援の思いが込められています。

高等部では、美里高等学校分教室と県立総合教育センター分教室を設置しており、美里高等学校分教室では「同年代が同一環境で共に送る学校生活」をコンセプトに47名の生徒が学んでいます。また、県立総合教育センター分教室では「企業就労を目指した職業教育の充実」をコンセプトとして29名の生徒が在籍しています。

高等部ではそれぞれの学びの場の特色を生かし、本校の教育理念である「社会参加・自立・貢献」に向けて、日々の教育活動に取り組んでいるところです。

本校は、本島中部地区における特別支援教育のセンター校的役割として、地域に求められる学校を目指し、主役である子どもたちが、それぞれにあった形で、「社会参加・自立・貢献」の花を美しく咲かせられるよう、教職員一同、心を一つにして教育活動の充実に取り組んでまいります。

保護者、地域、関係機関の皆さまにおかれましては、今後とも本校への御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和8年4月吉日

沖縄県立美咲特別支援学校  
校長 赤嶺 信吾